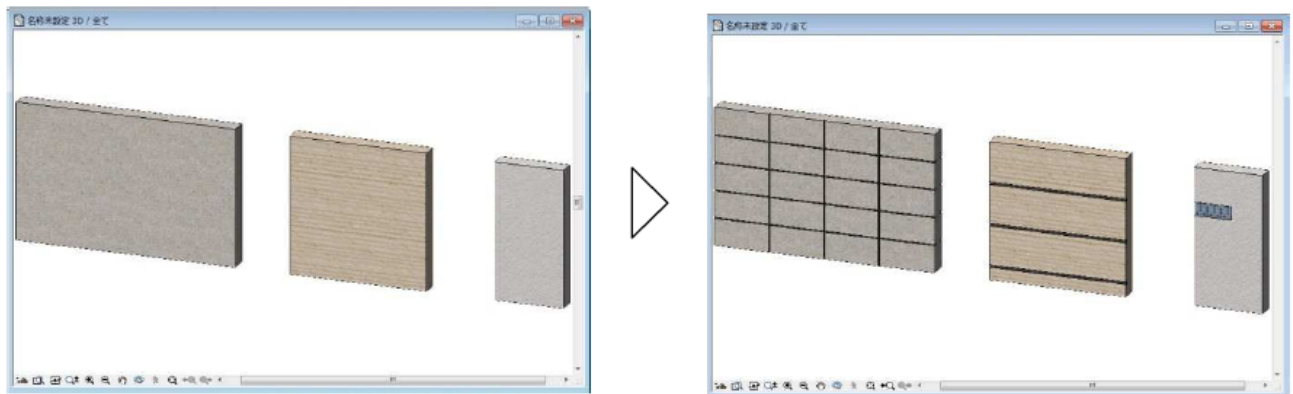


塀-フェンス

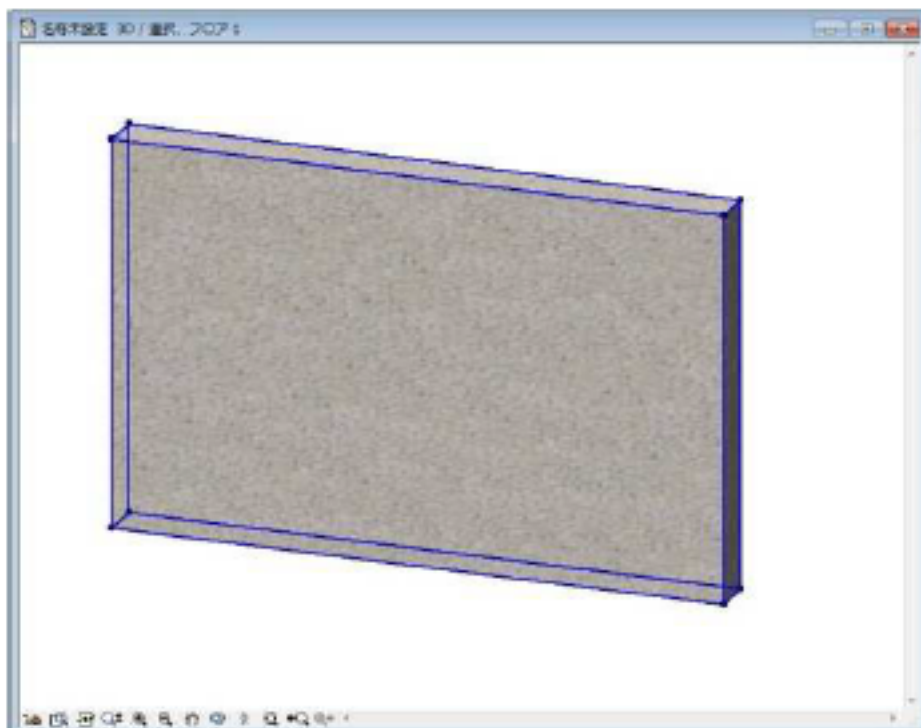
目地作成

「目地作成機能」は、壁に設定した間隔で目地を入れることができます。画像とは違う凹凸感が表現できるほか、目地を入れる方向や本数、目地幅を設定できるためさまざまなデザインが可能になります。



目地作成機能の使い方

- 1) 目地作成機能を使用するには、元となる壁を[壁ツール]で入力しておきます。
- 2) 目地を入れる壁を矢印ツールで選択状態にし、画面上部のメニュー[編集-補助]-[目地作成]をクリックします。
(平面図・3D画面いずれでも実行できます。)

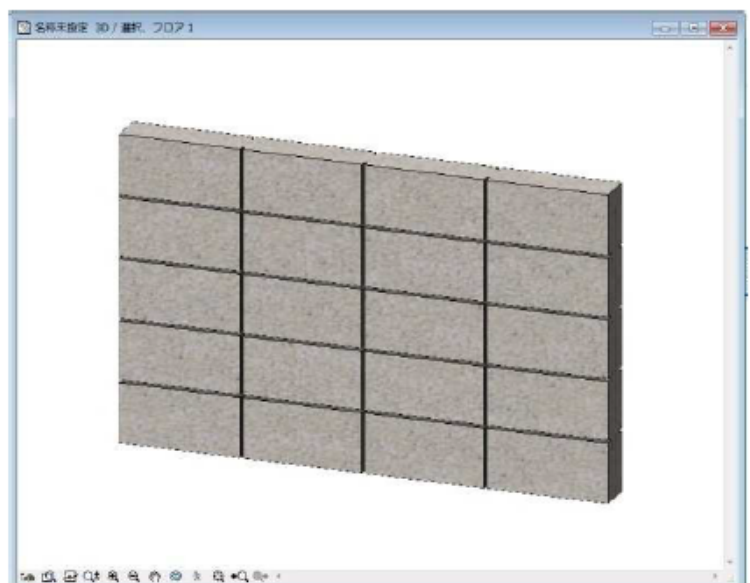


- 3) 目地を入れるために必要な情報を入力する画面が表示されます。入力する目地の寸法や材料などの設定し、[OK]ボタンをクリックします。

塀-フェンス



4) 目地作成完了画面が表示されます。[OK]をクリックすると、選択した壁に目地が入力されます。

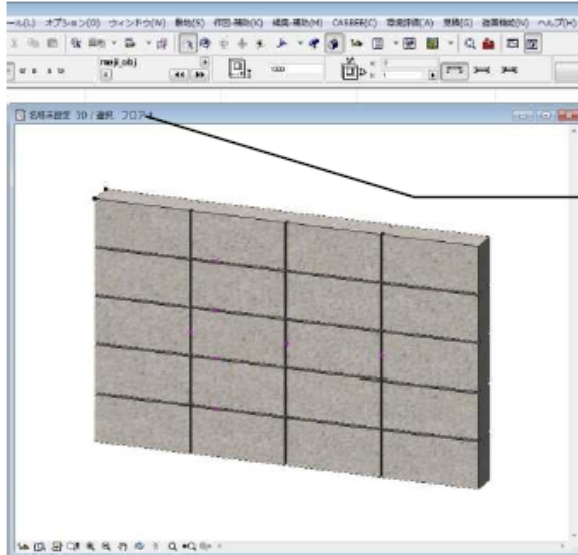


入力した目地を削除するには

1) 目地作成機能で入力された目地は、「meziobj」という窓ツールのデータが壁に取り付けられている状態となります。入力した目地を削除するにはこの「meziobj」を選択し、[Delete]キーで削除することができます。

目地作成機能で目地をいれた壁を削除すると、「meziobj」も一緒に削除されます。

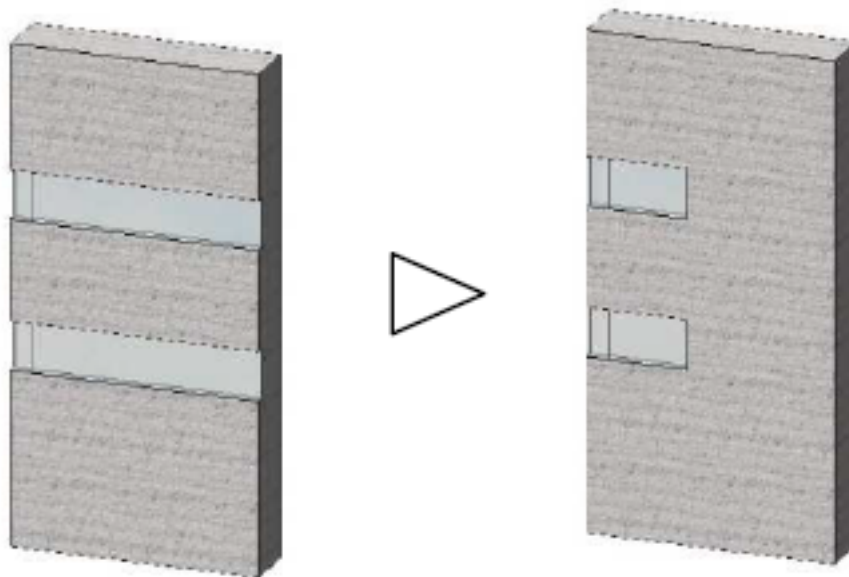
塀-フェンス



削除する目地を選択時、画面上部の情報ボックスに「meji_obj」と表記されているか確認のうえ、削除を行います。

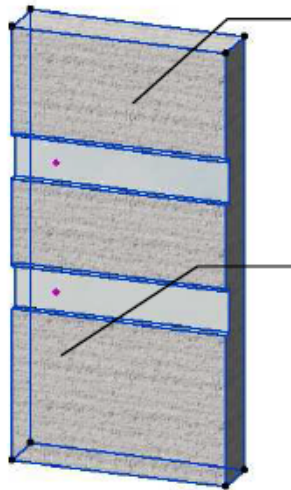
目地作成機能を使って壁にワンポイントを入力する

入力した目地（meziobj）の初期設定では、自動で壁の長さに合わせる仕様になっていますが、設定画面でこの設定を変更することができます。壁の途中まで目地を入れる場合に便利です。



1) 目地作成機能を使って目地を入力します。3D画面上で入力した目地を選択状態にします。)

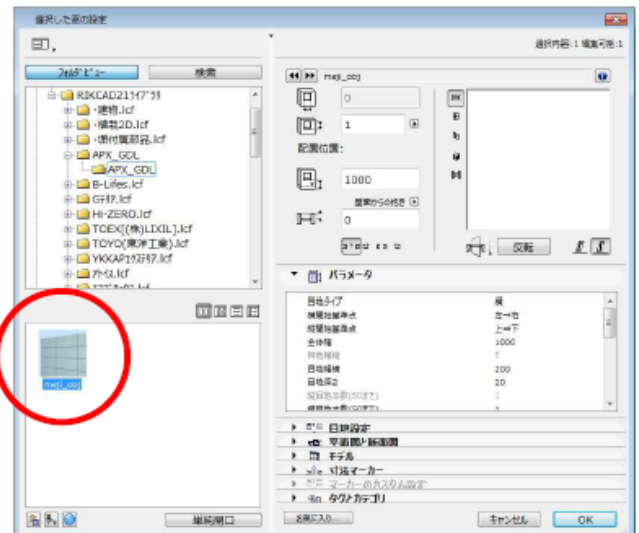
塀-フェンス



①はじめに壁を選択し、

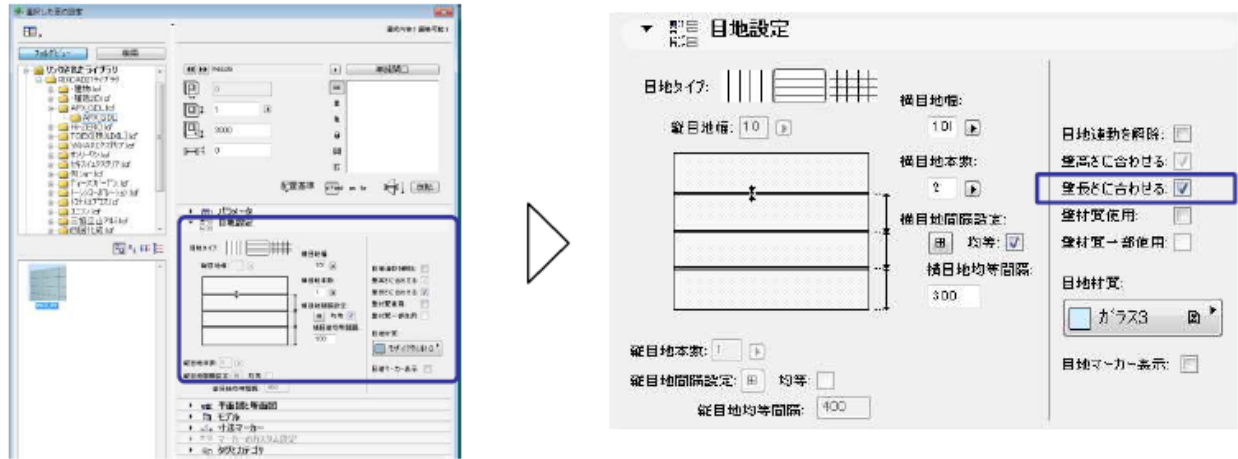
②目地上に表示される紫のひし形のポイントをクリックすると目地が選択しやすくなります。

2) 目地を選択後、画面上部の情報ボックスの窓の設定画面ボタンをクリックします。選択した窓の設定画面 (meziobj の設定画面) が表示されます。



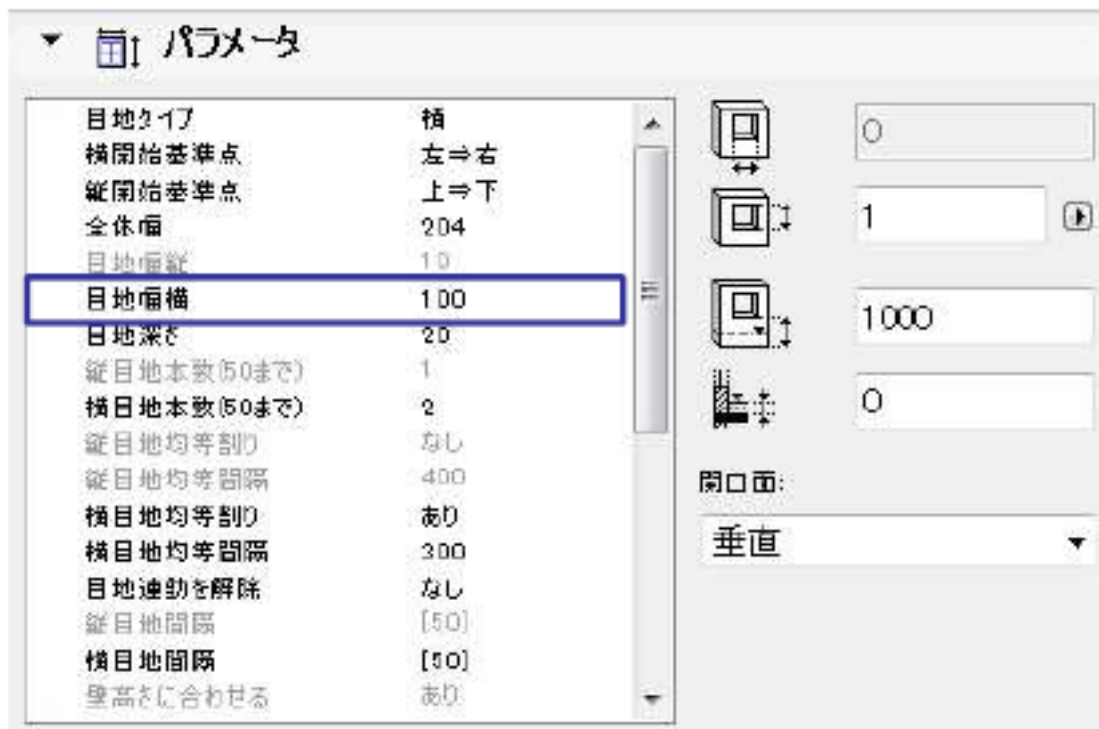
3) 設定画面右側の「目地設定」項目から「壁長さに合わせる」のチェックを外します。これで壁の長さとの連動を解除することができます。

塀-フェンス



3 - 1) 数値で目地の長さを変更する場合

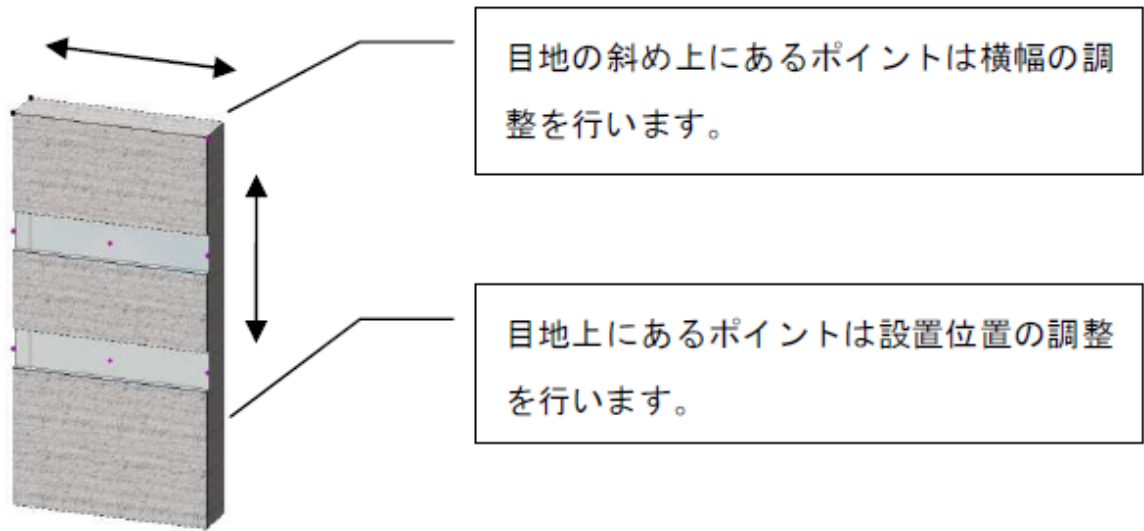
数値で目地を設定する場合、同じ設定画面内の「パラメータ」の全体幅の数値を入力します。



3 - 2) 3D 画面上で変更する場合

3D画面上で長さを変更する場合、設定画面で「壁長さに合わせる」のチェックを外し[OK]ボタンをクリックし設定画面を閉じます。3D画面に戻ると、目地のポイント（紫のひし形）が増えているのが分かります。

塀-フェンス



4) 変更するポイントを長めに押すと以下のようなパレット（ペットパレット）が表示されます。一番左の「頂点を移動」をクリックすると、クリックした位置に応じて縦方向、横方向に目地のサイズを変更することができます。



1度の目地作成で入力した目地すべて同じ長さに伸縮します。長さの異なった目地を入力するには、回数を分けて目地作成を実行します。

塀-フェンス

一意的なソリューション ID: #1131

製作者: 藤田

最終更新: 2018-06-19 13:46